



感動を与える“歌”を

CLOSE
UP
大村人

現在、市内で3つの合唱団を指揮する伊地知和子さん。これまで数々の団体を指導してきました。昭和61年に指導を始めた「大村グリーンコーラス」は、たった2年で九州代表として全国大会に出場。毎年、芸術の秋に行われる大村の音楽の祭典「大村城下町秋の音楽祭」では実行委員長を務めるなど、大村の音楽界を盛り上げてきました。

「幼い頃から歌が好きだった。」という伊地知さん。中学生の頃、恩師が伊地知さんの才能に気づき、ピアノや指揮を始めるよう勧めてくれたことが、この道を究めるきっかけとなりました。上京してからは、神奈川県内の市民オペラで活躍。「プロと共演できたことが、今の音楽活動の糧になっている。たくさんの方の支えがあり、音楽が人と人をつなげてくれた。」と、伊地知さんは振り返ります。

伊地知さんは現在、「大村コールあじさい」「コールちゃんぽん」、そして平均年齢73歳、市内唯一の男声合唱団「シルバーメンネルコール」を指導。「主人公になったつもりで。」とメンバーを奮い立たせます。「音楽はただ声を出せばいいというわけではありません。歌は歌詞や曲を作った人の思いを伝える役目がある。心が伝わる歌でないと、人は感動させられない。」と、指導にも熱が入ります。

「市全体で歌を楽しめるようになれば、まちもお年寄りも元気になりますよね。」と伊地知さん。これからの感動を与える“歌”で魅了していきます。



市民オペラで活躍する伊地知さん

Profile

いじち・かずこ
昭和9年4月3日生まれ
鹿児島県出身。
大村市音楽協会副会長。
昭和35年に上京し、藤沢市民オペラで6作品に出演。昭和60年、大村市に。現在は、市内で活動する「大村コールあじさい」、「シルバーメンネルコール」、「コールちゃんぽん」の3つの合唱団を指導。81歳。

指揮者

伊地知 和子さん



クローズアップ

大村人

vol.9

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する“大村人”を紹介していきます。